

「タグチメソッドの基礎を徹底的に学ぶ」 4日間の集中講義

タグチメソッド(品質工学)は1980年代ころから多くの企業で活用され始めました。しかし、その本質を理解しないままテクニックだけが独り歩きし、本来得られるべき成果が出せないまま終わっているケースが非常に多いと感じられます。そこで、本セミナーでは、本来タグチメソッドで得られる開発・設計段階で“ロバストな”安定性のある設計を実現するための本質的な考え方と実践方法を演習を通じて徹底的に学びます。

アイテックインターナショナル 代表取締役

講師: 井上 清和

デンソーにて半導体の研究・開発従事。田口玄一先生の勧めで中部品質管理協会に転籍。1992年にアイテックインターナショナル設立。田口先生と共に台湾生産性本部から台湾への品質工学普及による表彰を受ける。企業指導国内海外含め延200社以上3000テーマ以上。



【開催日時】

2015年

7月29日(水) & 30日(木)、
8月31日(月) & 9月1日(火)
全4日間 10:00~16:00

【会場】「WA東桜 第3会議室」

名古屋市東区東桜1-2-8

* 地下鉄桜通線「久屋大通駅」徒歩3分

【参加費】 90,000円 税別

【対象】 管理者, 技術者

【受講者準備物】 パソコン, 筆記用具

内 容

- 1)品質工学の主な内容一覧表
- 2)パラメータ設計とは
- 3)技術論＝理想機能を考える
- 4)良い設計・技術開発と実験の仕方
- 5)技術の評価方法
- 6)直交表の性質と使い方
- 7)調合誤差因子とは
- 8)動特性の種類
- 9)動特性 SN比 η と感度Sの求め方
- 10)パラメータ設計の手順
- 11)補助表
- 12)要因効果図、最適条件と比較条件
- 13)工程平均の推定
- 14)確認実験について
- 15)【演習問題】《動特性のパラメータ設計の手順》
- 16) 動特性の利点
- 17)【演習問題】《感度の扱い方》
- 18)静特性とは
- 19)パラメータ設計の考え方:2段階設計法
- 20)静特性のSN比と感度
- 21)静特性の実験方法
- 22)静特性のパラメータ設計の手順
- 23)【演習問題】《一般の望目特性》
- 24)【演習問題】《機能窓法》
- 25)許容差設計の手順と必要な知識
- 26)許容差設計の手順
- 27)完全2段階設計法とは
- 28)標準SN比と解析法
- 29)【演習問題】《標準SN比》

参加申込み表

受付締切: 7月24日
定員: 15名

FAX(052-917-0712)にてお送りいただくかまたはメール(info@iteq.co.jp)にてお願いします。
定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
・お申し込み後、ご請求書と会場案内図を郵送にてご送付いたします。
・お支払いは請求書記載の弊社指定口座に銀行振り込みにてお支払いください。
・お申し込み後のキャンセルはできませんので、代理の方のご参加をお願いします。

会社名: _____

住所: 〒 _____

所属/役職: _____

氏名: _____

E-mail: _____

TEL: _____